

お知らせ

平成11年12月25日
海洋科学技術センター
宇宙開発事業団

「H-IIロケット8号機」の第1段ロケットの再調査（2次調査）ならびに エンジン部発見後の今後の予定について

1. 調査状況

海洋科学技術センター所有の支援母船「よこすか」及び曳航体「ディープ・トウ」を用い、25日（土）は「ディープ・トウ」ソナーシステムにより、昨日（24日）のエンジン部発見海域を中心に人工物の詳細調査を実施しました。

なお、「よこすか」は12月26日（日）16時頃に当センター（横須賀）に帰港する予定です。

2. 今後の予定

今回の調査において、H-IIロケットのエンジン部が発見されたことから、海洋科学技術センター（理事長 平野拓也）及び宇宙開発事業団（理事長 内田勇夫）は、事故原因の究明に資する詳細な画像を得るとともに、可能な範囲で今後の対策に資する資料採取を行うため、海洋科学技術センター所有の支援母船「なつしま」及び同船搭載の無人探査機「ドルフィン-3K」による3次調査の実施を検討しており、その結果については結論を得次第、お知らせする予定です。

問い合わせ先

海洋科学技術センター	普及・広報課	他谷（たや）、池川、木村
		TEL 0468-67-3806
宇宙開発事業団		広報室 福室、高橋
		TEL 03-3438-6107